

報道機関各位
ニュースリリース2025 年 11 月 6 日
株式会社阪急阪神ホテルズ
No. 25-03

里親制度の普及や子ども支援活動に取り組む NPO 法人にクリスマス期間の収益の一部を寄付

「クリスマスチャリティー」を今年も実施します

～首都圏・関西圏の直営 17 ホテルにて 12 月 24 日（水）・25 日（木）に実施～

株式会社阪急阪神ホテルズ（本社：大阪市北区 代表取締役社長：小泉 秀俊^{こいずみ ひでとし}）は、直営 17 ホテルにおいて、12 月 24 日（水）と 25 日（木）の収益の一部を、里親制度の普及や子ども支援活動を行う「認定 NPO 法人 日本こども支援協会」^{※1}へ寄付するクリスマスチャリティーを実施します。

本チャリティーでは、期間中にご宿泊、またはレストランの対象メニューをご注文されたお客様 1 名様につき 20 円を当社が寄付します。さらに、阪急阪神ホールディングスグループが取り組む社会貢献活動「阪急阪神 未来のゆめ・まちプロジェクト」^{※2}からも同額を上乗せし、合計で 40 円が寄付されます。

このチャリティーは、クリスマスという子どもたちにとって特別な日に、子どもたちへの支援に繋がる社会貢献をお客様とともに実現したいという想いから始まりました。寄付先として選定した「認定 NPO 法人 日本こども支援協会」は、長きにわたり里親制度の普及などの取組を通じて子どもたちの健やかな成長を支援されており、その活動理念は当社の想いと深く重なるものです。同協会との連携は、2022 年の第一ホテル東京でのチャリティー活動に始まり、これまでの活動を通じて当社は 899,959 円を寄付してきました。当社はこの支援を通じて、今後も子どもたちの未来を応援してまいります。



私たちは、未来へつなぐ
「地域環境づくり」と「次世代の育成」に
貢献します。

当社では、次世代に夢と感動をつなぎ、すべての人々が安心して快適に過ごせる心豊かな社会の実現に貢献すべく、6 つの重要テーマを掲げさまざまな活動に取り組んでいます。「クリスマスチャリティー」は、重要テーマの一つ「豊かなまちづくり」の一環として実施するものです。昨年も多くのお客様に当社のホテルをご利用いただいた結果、子どもたちへの温かい支援に繋がりました。

「クリスマスチャリティー」のほかにも、「豊かなまちづくり」をテーマにした取組として、神戸市にある小児がんや難病のお子さんとその家族のための滞在施設を運営する「公益財団法人チャイルド・ケモ・サポート基金」^{※3}や小児病棟に臨床道化師（クリニックラウン）を派遣する活動を行う「認定 NPO 法人 日本クリニックラウン協会」^{※4}への寄付つき宿泊プランの販売、当社の従業員が身近に参加できる従業員スペースでの寄付つき自動販売機の導入なども実施しています。

【リリース同時配付先】青灯クラブ、近畿電鉄記者クラブほか

この件についてのお問い合わせは
阪急阪神ホテルズ 広報担当：吉田・田中^{よしだ たなか}
TEL：06-6377-5743 FAX：06-6486-3322
e-mail：pr@hankyu-hanshin-hotels.com

<概要>

・寄付先 認定NPO法人 日本こども支援協会（公式サイト <https://npojcsa.com/index.html>）

・対象 宿 泊

12月24日（水）・25日（木）に次の17ホテルにてご宿泊のお客様

第一ホテル東京、レムプラス銀座、レム東京京橋、レム日比谷、レム秋葉原、レム六本木、
京都新阪急ホテル、ホテル阪急インターナショナル、ホテル阪急グランレスパイア大阪、
ホテル阪急レスパイア大阪、新阪急ホテルアネックス、ホテル阪神大阪、
ホテル阪神アネックス大阪、レム新大阪、千里阪急ホテル、宝塚ホテル、レムプラス神戸三宮

レストラン

12月24日（水）・25日（木）に次のレストランで対象メニューをご注文されたお客様

第一ホテル東京「エトワール」「アンシャンテ」「一徹」「一寿し」
ホテル阪急インターナショナル「ナイト&デイ」「マルメゾン」「ちゃやまち」「翁鮎」
ホテル阪急レスパイア大阪「グリリアート クオッカ」
ホテル阪神大阪「ネン」
千里阪急ホテル「シャガール」「ボナーージュ」
宝塚ホテル「アンサンブル」「風雅」
京都新阪急ホテル「ブルーヴァール」「ロイン」

※対象メニュー等の詳細はこちらをご覧ください。

<https://www.hankyu-hotel.com/group/campaign/christmascharity2025>

■ 昨年度の寄付実績

寄付額：436,800円 ※「阪急阪神 未来のゆめ・まちプロジェクト」からの上乗せ寄付額は含まない
認定NPO法人 日本こども支援協会を通じて、里親啓発事業、里親支援事業などに活用されました。

■ 認定NPO法人 日本こども支援協会 代表理事・岩朝しのぶ様コメント

いつも温かい支援を賜り、本当にありがとうございます。
皆さまのお力添えが、私たちの活動を支える大きな力となっています。
子どもには一人ひとり向き合ってくれる家族が必要です。1日も早く、
1人でも多く子どもが安心して家庭で過ごせるよう、里親制度の普及啓発と
全国の里親家庭を支え、全力で頑張っています。



■ ホテル担当者 運営管理本部・中平千尋コメント

世の中には様々な事情で支援を必要とする子どもたちがいます。
子どもたちにとってクリスマスは、特別なイベントです。
だからこそ私たちはこのチャリティーを通じて、ホテルをご利用のお客様と
ともに、多くの子どもたちが明るい未来を描けるよう、社会貢献の輪を
広げていきたいと思っています。



※1「認定NPO法人 日本こども支援協会」は、日本では里親制度になじみがなく、里親が不足している現状に対して、全国100か所以上で街頭啓発を行う「全国一斉里親制度啓発キャンペーン」を行うなど、啓発活動に力を入れています。

※2「阪急阪神 未来のゆめ・まちプロジェクト」とは、「未来にわたり住みたいまち」をつくりたいという想いに共感する、まちに関わるさまざまな人々と協働しながら、阪急阪神ホールディングスグループを挙げて社会貢献活動を推進するプロジェクト。（前ページ右図：シンボルマーク）

※3 チャイルド・ケモ・ハウス（公益財団法人チャイルド・ケモ・サポート基金）とは
兵庫県神戸市ポートアイランドにあり、全国から近隣の高度医療機関に治療を受けに来られる、小児がんや難病のお子さんとそのご家族のための滞在施設です。長期にわたる入院中も、一日でも多く家族一緒に家のような環境で過ごせるようにという思いから、チャイルド・ケモ・ハウスには家のように料理できるキッチン、リラクゼーションできるお風呂、疲れた時にごろごろできる場所、つらい時に泣くことができる場所、きょうだいと遊べる場所があります。

※4 日本クリニクラウン協会（認定NPO法人 日本クリニクラウン協会）とは
「すべてのこどもにこども時間を」を合言葉に、赤い鼻がトレードマークのクリニクラウン（臨床道化師）を小児病棟に派遣。入院している子どもたちが、こども本来の生きる力を取り戻し、笑顔になれる環境をつくるために2005年から活動しています。

ご参考

阪急阪神ホテルズが取り組む SDGs について

(詳細はこちら <https://www.hankyu-hotel.com/sustainability>)

阪急阪神ホテルズでは、「安全・安心の追求」「豊かなまちづくり」「未来へつなげる暮らしの提案」「一人ひとりの活躍」「環境保全の推進」「ガバナンスの充実」を6つの重要なテーマとして掲げ、さまざまな活動を通して課題解決に取り組んでいます。

“豊かなまちづくり” その他の取り組み

➤ 寄付つき宿泊プラン販売

お客様のご宿泊代の一部(500円/1人)に阪急阪神ホールディングスグループで推進する社会貢献活動「阪急阪神 未来のゆめ・まちプロジェクト」から同額となる1人あたり500円を上乗せし、合計1,000円/1人を寄付しています。

・「チャイルド・ケモ・ハウス応援プラン」

京都新阪急ホテル、ホテル阪急インターナショナル、ホテル阪急グランレスパイア大阪、ホテル阪急レスパイア大阪、新阪急ホテルアネックス、ホテル阪神大阪、ホテル阪神アネックス大阪、千里阪急ホテル、宝塚ホテル

・「日本クリニクラウン協会応援プラン」

第一ホテル東京、レムプラス銀座、レム東京京橋、レム日比谷、レム秋葉原、レム六本木、レム新大阪、レムプラス神戸三宮



フロントにも募金箱を設置

➤ チャイルド・ケモ・ハウスへの食事支援

宝塚ホテルでは、2022年より「チャイルド・ケモ・ハウス」へのサポートとして、ホテルの料理を施設で楽しんでもらうよう年3回お弁当を提供しています。



➤ 寄付つき自動販売機の導入

当社の従業員の休憩スペース等に設置した自動販売機の商品のうち、特定の商品を購入することで、誰でも簡単に寄付することができる環境を整えました。集められた寄付金は、子どもたちのために活動をされている団体に役立てられています。

➤ ペットボトルキャップ回収運動で子どもたちにワクチンを寄贈

2020年より全従業員が身近に参加できるペットボトルキャップの回収運動を実施。リサイクル業者を通じて、定期的に回収されたキャップの代金をNPO法人 世界の子どもにワクチンを日本委員会(JCV)へ寄付しています。



※画像は全てイメージです。

以上